

報道関係者各位

2024年9月24日(火)

株式会社明電舎

明電舎（鄭州）電気工程有限公司は 設立 20 周年を迎えました

株式会社明電舎（代表取締役 執行役員社長：井上晃夫/東京都品川区、以下明電舎）のグループ会社である明電舎（鄭州）電気工程有限公司（董事長：中川雄一郎/中国河南省鄭州市、以下 MZE）は、9月22日に設立 20 周年を迎えました。

MZE は、明電グループの電力インフラ事業、避雷器の中国生産拠点として 2004 年に設立され、これまで幅広いお客様に高品質な製品を納入してきました。2007 年には、マザー工場である明電舎ソレスター※1 工場（静岡県沼津市）が有する技術を活用して、以降の MZE の発展を主力製品として支えることとなった GIS 用避雷器※2 の開発に着手し、2008 年に同製品の生産を開始。その後も中国市場における電力の安定供給に貢献を続け、2022 年には GIS 用避雷器の累計出荷 1 万台を達成しました。



明電舎（鄭州）電気工程有限公司 工場の外観



GIS 用避雷器

明電グループの避雷器事業は、日本の明電舎、中国の MZE、ドイツの TRIDELTA MEIDENSHA GmbH の 3 つの生産拠点によるグローバル体制で展開しており、新型ガスを採用したエコ形避雷器の開発に取り組むなど、シナジーを強化しています。

MZE は今後も避雷器の提供を通じて、中国の安定した電力供給に寄与するとともに、品質向上による競争力強化を図ってまいります。

以上

※1 酸化亜鉛形ギャップレス避雷器の明電舎の商品名

※2 ガス絶縁開閉装置（GIS）用避雷器

■ 参考リリース

2022年10月13日

中国現地法人がガス絶縁開閉器用避雷器の出荷 1 万台を達成

https://www.meidensha.co.jp/news/news_03/news_03_01/1242956_10499.html